

10番 柴立 豊子 議員

1 学校の校則について

- (1) 校則はどうあるべきと考えるか。
- (2) 文部科学省は校則の見直しを通達している。そのことは各学校に伝わっているか。
- (3) 校則を改定していく場合、生徒の意見が尊重されるべきと考えるが、どうか。
- (4) 学校教育の中で、校則を含め自由な議論ができる場が必要と考える。今の校則では、画一的な考えをするように求められているように思われるが、どうか。

2 国保税の均等割について

- (1) 来年4月から施行される国による未就学児の均等割の5割補助について、対象は何人か。
- (2) 国による未就学児の均等割が5割補助されるが、本市が行っている多子世帯の均等割免除は継続されるのか。
- (3) 国保に加入している子どものいる家庭は負担が大きい。均等割の免除を拡大できないか。

3 星塚敬愛園の将来構想について

- (1) 今回、星塚敬愛園の将来構想に取り組むに当たり、本市の基本的な考えを示されたい。
- (2) 施策の取りまとめを3年以内とされているが、高齢化した入所者のためにはもっと急ぐべきではないかと考えるがどうか。
- (3) 無らい県運動など、施設の歴史を考えれば、本市をはじめ県全体で考えるべきではないか、県の取組状況はどうなっているか。
- (4) 国の施設でありながら、自治体任せになっているのではないかと考える。国に対する働きかけはどのようにされているか。